

肝炎ウイルス検診を受けましたか？

平成14年度から18年度まで5年間、肝炎（B型・C型）による健康障害を回避し、進行を遅らせることを目的に、節目検診（40・45・50・55・60・65・70歳の人を対象）として、集団検診や個別検診にあわせて肝炎ウイルス検診を実施してきました。

しかし、なんらかの理由により、肝炎ウイルス検診を受けそびれてしまった人がいることから、国の方針で19年度についても引き続き実施することになりました。

19年度の肝炎ウイルス検診の対象者や受診方法などは左記のとおりです。

対象者

節目検診

平成19年度に（平成20年4月1日時点で）40歳になる人

節目外検診

40歳から70歳までの人で、過去5年間に受診機会を逃してしまった人

申込み方法

節目検診

集団検診の場合

対象の人には、基本健診・がん検診等の問診票とあわせて事前に肝炎ウイルス検診の問診票を送付しますので、検診当日に必要な事項を記入して持参してください。

個別検診の場合

医療機関に肝炎ウイルス問診票が置いてありますので、対象の人は受付に申し出て受診してください。

節目外検診

検診当日（集団検診・個別検診）に受付時に申し出てください。該当の場合はその場で問診票に記入していただきます。

検査の内容と方法

採血で検査します。

・HCV抗体検査（C型肝炎）

・HBs抗原検査（B型肝炎）

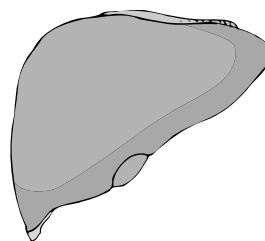
検査費用

無料

結果について

通常の基本健康診査の結果と共に受け取ってください。

肝炎ウイルス以外の原因による肝炎もありますので、気になる症状（身体がだるい、食欲低下、吐き気、黄疸など）がある場合は、主治医に相談してください。



問い合わせ先

保険課 健康診査担当

☎9129

麻しん（はしか）に注意

麻しん患者が増えています。予防対策としてワクチンによる予防接種が有効です。

麻しんウイルスは感染力が非常に強く、患者さんと直接接触していなくても空気感染を起こします。

また、感染後約10日で発症し、初期症状は風邪に似ています。発症した後の特別な治療法はなく、症状に応じて治療を行う対処療法が行われます。

麻しんウイルス感染により免疫機能が低下し、重症化したり肺炎や脳炎など他の疾患を合併し、場合によっては死亡することもあります。

なお、ワクチン接種者でも発症する場合がありますが、症状は軽症で済む場合もありますので、麻しん感染防止のため、早めに予防接種を受けてください。

発熱など体調に異変を感じたら、登園など外出を控え、早めに医療機関を受診してください。

さらに、麻しんは小児だけの病気ではありません。成人麻しんの場合には、発症した場合重症化することがあるばかりでなく、勤務先等での集団感染により社会的機能が停止してしまうことも懸念されますので、特に注意してください。

問い合わせ先 = 健康福祉課 健康増進係 ☎9132